

令和2年5月8日

開進三中だより

< 第2号 >

—◆たくましい人◆考える人◆心豊かな人◆助け合う人— 練馬区立開進第三中学校

「いかに自分を成長させるか」

校長 岩尾 幸市

私たちの「いのちや生活」を守るためにあらゆる職種の方が昼夜にわたり懸命に取り組んでいただいています。本当にありがとうございます。

緊急事態宣言が延長され自宅で過ごす時間が長くなっています。このような時だからこそ自分に何ができるのかを考える貴重な経験となっています。

今やるべきことは「いかに心身の健康を保ち自分を成長させるか」です。そのために自分のやるべき目標を定め、普段の学校生活と変わらない計画で一日一日を過ごしていくことです。まず、学校から示されている学習課題をできるだけ早い段階でやり終えるように計画し実行してみましよう。次に、自分の得意教科を伸ばすことや不得意教科の克服、ラジオ体操やウォーキング、読書や趣味などに取り組むことも良いことです。

生徒の皆さんにとってこの緊急事態宣言はあまりに大きく重い体験だと思えます。もし心配なことがある時には一人で抱え込まず、家族や身近な大人・学校へ相談してください。

私の親の世代（昭和-桁生まれ）の方は、昭和16年(1941年)から約4年続いた太平洋戦争の中で家が焼け食べ物がなく学校に通うこともできず、芸術やスポーツをやりたくてもできない時代を過ごしました。日本はこの時代を含め大きな自然災害など幾多の困難を乗り越えてきました。日本人の忍耐力や結束力、他者への思いやりの心、繊細で優れた物作り、小惑星探査機はやぶさ2に代表される科学技術先進国として、国際社会から賞賛の声が得られる今日の日本社会を築き上げてきました。

人間の一生にはさまざまな困難が待ち受けています。困難を避けて前に進むことはできないこともあります。先人は「困難や苦勞を乗り越えることで、人は強く賢く成長する」と話されています。この困難な状況を乗り越えたくましく成長してくれることを切に願っています。